

祝 東下田川2第2砂防堰堤完成



①完成した砂防堰堤を背景に記念撮影 ②主催者を代表して草野国土交通省砂防部長から挨拶 ③吉良村長による感謝の意を含めた祝辞 ④坂井阿蘇砂防事務所長から事業概要の説明がありました ⑤令和4年度の南阿蘇西小学校卒業生が作成した銘板を初めてお披露目しました

このたび、村内で初めて直轄砂防事業に着手した砂防堰堤が完成したことから、8月5日に白水体育館で、完成報告会が実施されました。報告会では、草野国土交通省砂防部長や坂井阿蘇砂防事務所長をはじめとした国関係者、吉良村長ら村関係者や事業者など約40人が参加しました。

報告会の後、参加者は東下田の現場へ足を運び、完成した砂防堰堤の見学をおこないました。

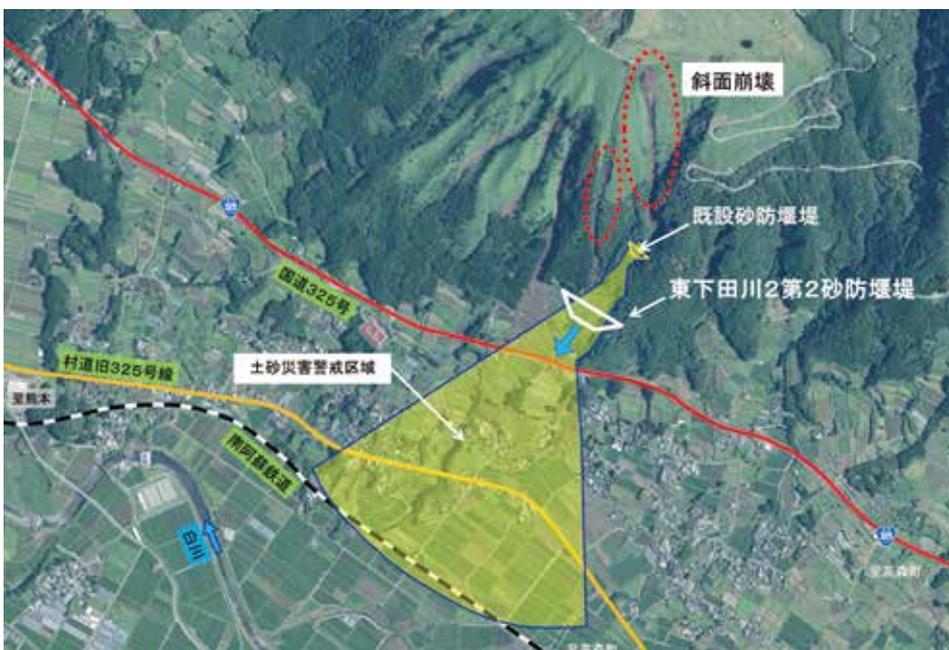
直轄砂防事業は、豪雨や火山噴火による災害リスクを抱える阿蘇地域において、砂防堰堤などの整備をすることで、土石流・流木対策および土砂流出を抑止・抑制し、集落・国道57号・国道325号・JR豊肥本線・南阿蘇鉄道などへの土砂災害を防止・軽減するために事業をおこなっています。

このほか村内では、現在3カ所で工事が進められており、今後新たに工事に着手する2カ所とあわせ計5カ所に砂防堰堤が整備される予定です。



東下田川2第2砂防堰堤の航空写真

東下田川2第2砂防堰堤の概要



東下田川流域は、阿蘇山中央火口丘群を構成する夜峰山の南に位置し、白川に注ぐ渓流となっています。新設した砂防堰堤の標高は400m～500mで背後の夜峰山頂部との標高差は約400mです。既設砂防堰堤と東下田川2第2砂防堰堤の2基をもって、約33,000㎡の不安定な土砂を捕捉する計画になっています。

【堰堤の概要】

堰堤高：13.5m
堰堤長：308.5m
堆砂容量：約25,000㎡
工事着手：平成31年3月
完 成：令和5年8月